



一般社団法人うさぎの里 SDGs宣言

当社は、「うさぎのような弱さと強さを持ちながら、利用者さまと共に支え合い、互いに成長する」という事業方針のもと介護看護サービス等を提供し、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めて参ります。

2023年5月1日

一般社団法人うさぎの里
代表理事 北平地 京子



重点項目(ターゲット2030)

公平な支援サービスの提供

私達は、高齢者や子供たちに対して分けへだてなく平等に、介護、看護等、支援サービスを提供し、生き生きとした暮らしの実現に貢献します。

【主な取り組み】

介護看護事業、児童発達支援、放課後等デイサービス事業、経験豊かなスタッフの配置、保護者・家族からの評価を改善に活用



健康で働きがいのある職場づくり

全員が生き生きと働くことができる職場を目指します。ワークライフバランスの充実に努め、自分や大切な人を思いやり、大事にできる職場づくりを行います。

【主な取り組み】

メンタルヘルス、自転車通勤など運動の推奨、定時退社の励行、時短勤務制度、労使のコミュニケーション、実技研修、有資格者の給料への反映



地域課題解決への努力

介護・看護等、専門人材を積極的に地元から採用しています。また災害時の地域支援にも協力します。

【主な取り組み】

地域人材の活用、地元の介護・育児問題への取り組み、災害時の避難所提供、食糧備蓄・協力事項の取り決め、地域イベントへの積極参加、リサイクル資源の回収・寄付、全社的な節水の励行



ガバナンスの強化

企業の持続的な発展に向け法令遵守を徹底し、社内体制の整備に取り組みます。ご家族や外部機関の意見を参考に、日々改善していきます。

【主な取り組み】

外部意見の導入、重要書類の厳格な管理、権限移譲、定期的なコンプライアンス勉強会、利用者さまとその家族との関係構築、BCPの策定と定期的な訓練、後継者の指名と指導育成、公正な取引の推進



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。